



各 位

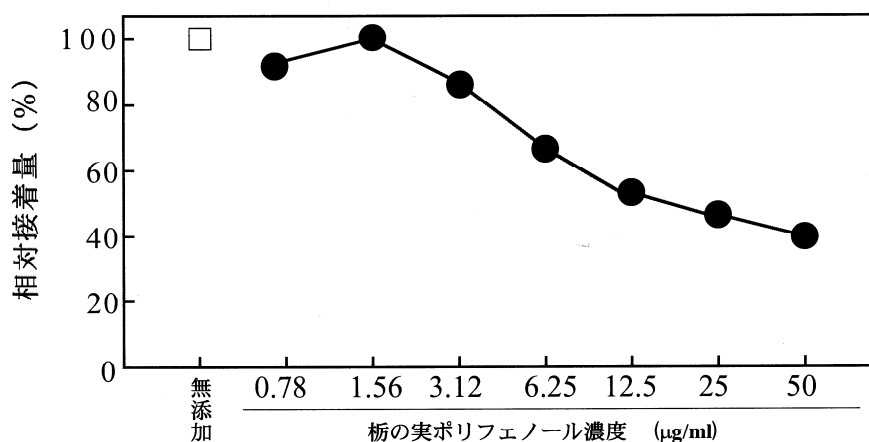
会 社 名 寿スピリッツ株式会社
(URL <http://www.okashinet.co.jp/>)
代 表 者 名 代表取締役社長 河越誠剛
(コード：2222 東証第二部)

栃の実ポリフェノール「ヘリコバクター・ピロリ接着抑制剤」の特許取得について

当社のグループ会社であります寿製菓株式会社（鳥取県米子市 代表取締役社長 山内博次）は、主力商品である「とち餅」や健康茶である「栃の実茶」の原料として使用している「栃の実」に含まれているポリフェノールを「ヘリコバクター・ピロリ接着抑制剤」として特許（特許番号：特許第5406085）を、本年11月8日付けで取得いたしました。

ヘリコバクター・ピロリは、らせん状のグラム陰性桿菌で、胃粘液中に浮遊するか、胃上皮細胞に付着して増殖します。このヘリコバクター・ピロリの感染が、慢性萎縮性胃炎や胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がんなどの発症に深く関与していると言われていています。先進国では近年の衛生状態の改善により保菌者は減少傾向にあるものの、高齢層での感染率は依然高く、日本においても40歳以上では70%以上が感染者であると言われていています。

このような背景のもと、栃の実ポリフェノールのヘリコバクター・ピロリの感染初期段階と考えられる胃粘膜細胞への接着抑制作用について調べたところ、比較的低濃度で有効であることを確認しました。胃がん細胞MKN45に対するヘリコバクター・ピロリの接着抑制効果を調べた結果を下記のグラフで示しました。栃の実ポリフェノール濃度が12.5 $\mu\text{g/ml}$ の濃度で約50%の接着抑制効果が確認されました。



胃がん細胞 MKN45 に対するヘリコバクター・ピロリの接着抑制作用

また、上記実験に用いた栃の実ポリフェノール標品のヘリコバクター・ピロリに対する抗菌活性を調べたところ、最小生育阻止濃度は180 $\mu\text{g/ml}$ でした。接着抑制作用を示す濃度での抗菌活性は50 $\mu\text{g/ml}$ の濃度で生育阻止率が30%程度、25 $\mu\text{g/ml}$ の濃度では7%程度でこれらの濃度での実質的な抗菌活性は低く、上記のヘリコバクター・ピロリの接着抑制作用が、抗菌活性によるものではないことを確認しています。

以上の結果から、栃の実ポリフェノールは、180 $\mu\text{g/ml}$ 以上の濃度ではヘリコバクター・ピロリに対して抗菌性を示すとともに、12.5 $\mu\text{g/ml}$ の濃度で約50%の接着抑制効果があり、胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がんなどを予防するための手軽に飲用できる素材として有用であると考えられます。



【栃の実】

【本リリースに関する問合せ先】

寿製菓株式会社 研究開発部 部長 木村英人
鳥取県米子市旗ヶ崎 2028/TEL 0859-22-7456

以上

問合せ先：寿スピリッツ(株) 取締役経営企画部部長 松本 真司
Tel:0859-22-7477 (代表) Fax:0859-22-7463